

つむぐ

公益社団法人 一宮法人会

No.163

[2025.9]



御神木奉迎送

一宮税務署長・
副署長インタビュー
第50回 通常総会
署長講演会

新任・留任関係係官の紹介
地域社会貢献事業

女性部会 第13回 税に関する絵はがきコンクール

青年部会 1Dayキャンプ2025 in すぎのこキャンプ場スイス村

第50回通常総会・記念講演会	1	税務広報	20
第50回通常総会 会長挨拶	2	文化講演会 笠井 信輔氏	24
第50回通常総会 一宮税務署長祝辞	3	令和7年 税制セミナー／支部のうごき	25
令和7年度～令和8年度 役員名簿	4	税経部会 第71回 通常総会 -創立70周年記念式典-	26
令和6年度 事業報告	6	税経部会 例会／女性部会 通常総会	27
令和6年度 正味財産増減計算書内訳表	8	女性部会 自主点検チェックシート活用セミナー／青年部会 通常総会	28
愛知県法人会連合会会長感謝状贈呈／ 一宮税務署長感謝状贈呈／退任役員功労表彰	10	青年部会 税務研修会／青年部会 出張租税教室	29
定例研修会出席優良法人／新規増強会員数目標達成支部表彰	12	青年部会 1 Day キャンプ2025	30
令和6年度 定例研修会 出席優良法人名簿	13	一宮税務署長講演会	32
一宮税務署 署長インタビュー	14	第13回 税に関する絵はがきコンクール	33
一宮税務署 副署長インタビュー	16	租税教室 講師派遣事業	37
法人課税第一部門総括国税調査官 着任あいさつ	17	はじめまして新会員の紹介／法人会費の口座振替利用のお願い	38
新任・留任関係係官の紹介	18	コラム	39
令和7年 全法連功労者表彰／県連会長表彰	19	講演会の案内／編集後記	40

第50回通常総会・記念講演会開催

令和7年5月27日(火)
会 場／名古屋文理大学文化フォーラム 中ホール
参加者／約250名

公益社団法人一宮法人会第50回通常総会と社団化50周年記念講演会が5月27日(火)、名古屋文理大学文化フォーラム 中ホールにおいて、会員、一般合わせて約250名が参加して盛大に開催された。

当日は来賓として一宮税務署長正田博揮様をはじめ多数の来賓の方々にご臨席をいただいた。通常総会は則竹副会長の開会のことばと豊島会長のあいさつに続き、総会議事に入り、議事録署名理事の選任があり、令和6年度収

支決算、同監査報告、役員選任があり、何れの議案も可決承認された。また、議事に続いて、報告事項として令和6年度事業報告と令和7年度事業計画並びに収支予算の説明がなされた。

表彰及び感謝状贈呈では、定例研修会出席優良法人106社の表彰と新規増強会員数目標達成支部に対して表彰と報奨金の贈呈が行われた。また、退任役員功労者に対する感謝状贈呈、(一社)愛知県法人会連合会会長感謝状贈呈ならびに一宮税務署長感謝状贈呈も行われた。議事終了後、来賓を代表して正田一宮税務署長の祝辞があり最後に榊原副会長による閉会のことばで総会は終了した。

その後、休憩をはさんで、将棋棋士の杉本昌隆氏による社団化50周年記念講演会が「師匠が語る『藤井聡太という才能、部下を伸ばす育成術』」と題し、一般の来場者も参加して開催され、盛会の内に幕を閉じた。



講演会の様子

表紙の解説

御神木奉迎送

神宮式年遷宮に向けて行われる数多くのお祭りの最初に行われる建て替えに必要なご用材の伐採・奉搬に関するものです。ご用材はまず長野県の御杉山(みそまやま)から切り出され、かつてはすべてのご用材が木曾川の水運を利用して伊勢へ運ばれていましたが、運送手段の発達により陸送に変わりました。ただし、現在でもご神体をお納めする御樋代(みひしろ)のご用材を御神木と呼ばれ、これだけは出来るだけ古例に近い形で奉搬したいとの思いから、木曾川沿いの道路を通過して丁重に運ばれ、この御神木を沿道各所で奉迎・奉祝する行事が「御神木奉迎送」です。

このたび、伊勢の神宮で行われる「第63回式年遷宮」に向けて、令和7年6月6日(金)に、長野県から運ばれてきた御神木を国道41号沿いの県境で引き継ぎ、7日(土)に真清田神社に御滞泊し、その後、伊勢大橋南詰で三重県に引き継ぎます。その間、賑やかに奉祝神事が行われます。

表紙の写真は、この御神木が真清田神社に御滞泊後、伊勢神宮に向けて、真清田神社を出発する様子です。

(写真提供：真清田神社)



杉本昌隆氏

第50回通常総会 会長挨拶

公益社団法人 一宮法人会第50回通常総会の開催に当たり、ご挨拶申し上げます。

本日は、一宮税務署正田署長様をはじめ、ご来賓の皆様には、ご多忙の折にもかかわらずご臨席を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、会員の皆様にも多数ご出席いただきましたこと、心より感謝申し上げます。

さて、本年度、一宮法人会は社団化50周年を迎えました。振り返れば、昭和23年4月に『一宮法人税務懇話会』として発足し、その後昭和32年4月に『一宮法人会』へ改称。昭和51年4月に社団化し、平成25年4月には公益社団法人として新たな歩みを進めてまいりました。

こうした長い歴史の中で、本会は税のオピニオンリーダーとしての役割を担い、経営支援や地域貢献に尽力してまいりました。これはひとえに、歴代会長、役員、会員の皆様のたゆめご努力の賜物であり、改めて深く感謝申し上げます。

また、本日の総会を迎えられたのも、ご来賓の皆様の温かいご支援の賜物であり、厚く御礼申し上げます。

前年度におきましては、各種税務研修会や租税教育活動・税の啓発活動、文化講演会の実施など、数々の公益事業・社会貢献事業を展開し、多くの方々にご参加いただきました。

また、会員交流事業や福利厚生制度の推進など、会員に寄り添う事業にも積極的に取り組んでまいりました。

昨今の経済環境は先行きが不透明な状況が続いておりますが、このような中で、法人会として皆様のお力添えをいただきながら、より一層活動を充実させてまいりたいと考えております。

今後とも、皆様のご支援のもと、法人会の発展に尽力してまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

最後に、本日の審議に際しましても、円滑な進行に向け、皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。



公益社団法人 一宮法人会 会長
豊島 半七



総会の様子

第50回通常総会 祝辞

本日は、公益社団法人一宮法人会第50回通常総会が、関係各位多数御臨席の下、このように盛大に開催されましたことを心からお慶び申し上げます。

本日御臨席の皆様をはじめ会員の皆様には、平素から税務行政に対しまして、深い御理解と格別の御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

ただ今、通常総会の全ての議案が滞りなく可決・承認され、豊島会長の下、新たな一年を踏み出されましたことを心からお祝い申し上げます。

一宮法人会におかれましては、本年で社団化50周年を迎えられ、長きにわたり、税のオピニオンリーダーたる経営者の団体として、法人会の目的である「税知識の普及」や「納税道義の高揚」に大いに寄与され、幅広い事業活動を通じ、税務行政の円滑な運営に多大な貢献をいただいております。

最近では、税知識の普及を目的として、問題意識の高い旬なテーマを設定し開催された「定例研修会」や「税務経理研究部会研修会」をはじめとして、各支部で税務研修会が開催され、「定額減税」や「年収の壁」など、積極的に新たな制度の周知に取り組んでいただきました。

また、地域イベントにおける「税金クイズ」のブース出展や愛知啓成高校演劇部による税をテーマとした演劇など工夫を凝らした活動を行っていただいたほか、「租税教室」では女性部会・青年部会を中心として多数の講師派遣をいただき、租税教育推進の大きな柱となりました。

更には、令和6年度に13回目を迎えた「税に関する絵はがきコンクール」では、最優秀賞の作品が名古屋国税局長賞に選ばれるという大変喜ばしい結果となりました。

これらの活動は、税務行政の円滑な推進や租税教育を通じた納税道義の高揚に寄与する大変有意義なものであり、皆様の長年の御尽力に敬意を表しますとともに、今後とも、一宮法人会ならではの視点で、魅力ある公益的活動を展開されますことを御期待申し上げます。

さて、税務行政を取り巻く環境は、経済社会のデジタル化や国際化の進展等により大きく変化しております。こうした中においても、税務当局としては「納税者の自発的な納税義務の履行を適正かつ円滑に実現する」という使命を果たすために、納税者の利便性を向上させ、課税・徴収を効率化・高度化し的確に調査・滞納処分を行う組織である必要があります。

その実現に向けて、申告・納付のデジタル化の推進等に取り組むとともに、事務の効率化や新しい経済取引への対応等により適正・公平な税務行政の一層の推進を図っていく所存でございます。

これらの取組を実現するにあたっては、一宮法人会の皆様の御理解・御協力が、非常に大きな力となっております。今後も税務行政の良き理解者として、変わらぬ御協力を賜りますよう、重ねてお願いを申し上げます。

結びに当たりまして、公益社団法人一宮法人会の益々の御発展と、会員の皆様の御健勝並びに事業の御繁栄を心から祈念いたしましてお祝いの言葉とさせていただきます。

令和7年5月27日



一宮税務署長
正田 博揮



令和7年度～令和8年度

役員名簿

○印新任役員

令和7年5月27日（順不同・敬称略）				
役 職 名		氏 名	法 人 名	備 考
会 長		豊 島 半 七	豊 島 株 式 会 社	非常勤
副会長		則 竹 伸 也	共和食品工業株式会社	非常勤
		榊 原 譲	榊 原 建 設 株 式 会 社	非常勤
		西 岡 隆 夫	株式会社マルエム商会	非常勤
		光 松 裕 起	中部抵抗器株式会社	非常勤
常任理事		金 森 和 広	株式会社カナックス	非常勤
	広 報 委 員 長	加 藤 豪	有 限 会 社 藤 市 殖 産	非常勤
	総 務 委 員 長	小 島 洋 一	株 式 会 社 愛 和 産 業	非常勤
		森 俊 輔	モ リ リ ン 株 式 会 社	非常勤
		水 谷 豊	株 式 会 社 水 谷	非常勤
	稲 沢 支 部 長	久 納 英 治	丸 徳 産 業 株 式 会 社	非常勤
専 務 理 事		小 柳 宏	公益社団法人一宮法人会	常 勤
理 事	大 志 支 部 長	○ 梅 谷 朋 志	明 治 産 業 株 式 会 社	非常勤
	本町支部長・税制委員長	土 川 正 夫	株 式 会 社 土 川 油 店	非常勤
	栄 支 部 長	大 鹿 晃 裕	大 鹿 株 式 会 社	非常勤
	神 山 支 部 長	永 田 忠 義	永 田 株 式 会 社	非常勤
	宮 西 支 部 長	梶 原 誠 二	宗 教 法 人 宝 珠 寺	非常勤
	貴 船 支 部 長	森 幹 昇	合資会社ヒロミ写真機店	非常勤
	富 士 支 部 長	伊 藤 幸 一	有限会社伊藤新聞舗	非常勤
	向 山 支 部 長	青 木 俊 憲	株 式 会 社 シ ー エ ー シ	非常勤
	大 江 支 部 長	○ 墨 大 輔	艶 金 興 業 株 式 会 社	非常勤
	せんい 支 部 長	佐 々 木 久 直	ササキセルム株式会社	非常勤
	丹 陽 支 部 長	植 田 常 幸	永 興 物 産 株 式 会 社	非常勤
	奥 支 部 長	時 田 典 幸	時 田 毛 織 株 式 会 社	非常勤
	萩 原 支 部 長	花 木 達 美	花 正 建 設 株 式 会 社	非常勤
	今伊勢 支 部 長	○ 伊 藤 光 治	レ イ ン ボ ー 株 式 会 社	非常勤
	大 和 支 部 長	神 戸 孝 行	神 戸 産 業 株 式 会 社	非常勤

役 職 名		氏 名	法 人 名	備 考
理 事	葉 栗 支 部 長	左 合 輝 行	丸 左 撚 糸 株 式 会 社	非常勤
	浅 井 支 部 長	伊 藤 裕 彦	有 限 会 社 ラ ム ダ	非常勤
	西 成 支 部 長	○ 鶴 飼 雅 弘	みずしま急配株式会社	非常勤
	千 秋 支 部 長	○ 青 山 直 生	株 式 会 社 青 山	非常勤
	起 支 部 長	○ 松 永 哲	合 名 会 社 松 永 商 店	非常勤
	大 徳 支 部 長	○ 菱 川 秀 夫	合資会社近藤自動車商会	非常勤
	三 条 支 部 長	吉 田 達 弘	株 式 会 社 吉 田 組	非常勤
	開 明 支 部 長	野 田 邦 彦	株式会社ノダックスコーポレーション	非常勤
	小信中島 支 部 長	山 田 一 仁	株 式 会 社 山 田 家 具	非常勤
	朝 日 支 部 長	坂 井 俊 夫	株 式 会 社 坂 井 工 業 所	非常勤
	木曽川 支 部 長	矢 野 尚 彦	株 式 会 社 中 工	非常勤
	北 方 支 部 長	高 橋 裕 之	曾 根 建 設 株 式 会 社	非常勤
	祖父江 支 部 長	吉 川 貴 祥	美 吉 建 設 株 式 会 社	非常勤
	平 和 支 部 長	石 井 善 博	株式会社ミヤケライフエージェンシー	非常勤
	事 業 委 員 長	佐 々 憲 一	東 和 工 業 株 式 会 社	非常勤
	厚 生 委 員 長	金 森 貴 史	春日ゴム工業株式会社	非常勤
	組 織 委 員 長	○ 渡 邊 肇	菊 一 あ ら れ 株 式 会 社	非常勤
	青 年 部 会 長	○ 野 田 一 郎	株 式 会 社 野 田 造 園	非常勤
	女 性 部 会 長	○ 上 林 公 子	社会医療法人杏嶺会	非常勤
		内 村 光 則	い ち い 信 用 金 庫	非常勤
		内 藤 久 嗣	尾 西 信 用 金 庫	非常勤
		塚 本 雅 弘	株 式 会 社 塚 本 印 刷	非常勤
		○ 森 久 江	株 式 会 社 森 熊	非常勤
	総務委員会副委員長	新 井 仁 志	株式会社森の木ライフ	非常勤
		岡 田 真 志	ナザテック株式会社	非常勤
		○ 飯 田 浩 二	公益社団法人 瀬戸旭法人会	非常勤
監 事		永 井 伸 治	株式会社永井水道設備	非常勤
		大 塚 え い 子	有 限 会 社 指 英 商 店	非常勤
		○ 宮 崎 信 二	公益社団法人小牧法人会	非常勤

1 はじめに

これまで一宮法人会は、公益社団法人として「法人会の理念」に基づき、国及び地域の発展に貢献する経営者の団体として、多くの事業を行ってきました。

当年度は、景気回復が進む一方で、企業においては、物価の高騰や賃上げ、人手不足への対応といった課題が顕著化する中、当法人会は各種税務研修会の実施をはじめ、小学校における租税教室への講師派遣、税に関する絵はがきの作品募集、経済・文化講演会や署長講演会の開催など、多くの公益事業を行いました。これらに加えて、社会貢献事業はもちろん、会員同士の親睦を深める会員親睦事業についても行うことができました。

次年度も引き続き、税務当局のご指導やご支援を受けながら、本来の使命である税知識の向上や納税意欲の高揚を目指して、事業を展開していきます。会員の皆様には、これからも変わらぬご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

2 組織関係

厳しい社会情勢の影響を受け、休廃業などを理由とした会員数の減少が続いています。平成28年度より新規会員の獲得をめざし報奨金制度を施行していますが、未だに会員の減少に歯止めがかからず、令和6年度は入会70社に対し、退会が110社で40社の減少となりました。

	会員数（内 特別会員）	加入率
令和6年3月末	3,038社（104社）	31.8%
令和7年3月末	2,998社（111社）	30.9%
増 減	△40社（7 社）	△0.9%

部会名	会員数（令和7年3月末）
青年部会	56名
女性部会	62名
税務経理研究部会	37名

3 実施事業について

（1）税をめぐる諸環境の整備、改善等を図るための事業（公益1事業）

イ 税知識の普及を目的とする事業

令和6年6月から実施された所得税・個人住民税の定額減税に関し、給与支払事務担当者を対象とした研修会を3か所の会場で延べ4回開催し、310名の参加がありました。また、定額減税に伴う年末調整事務に関する説明会を2か所の会場で延べ3回開催し、234名が参加しました。

定額減税関連の研修会や説明会に加え、当会の定例研修会事業はすでに定着しており、年6回2か所の会場で延べ12回開催しました。研修内容は「活用してみませんか 賃上げ促進税制」「消費税のキホン（インボイス制度を含む）」「法人税～迷いやすい事例特集～」などのテーマについて解説を行うなど、実務に役立つものを取り上げました。

また、税務経理研究部会や支部においても研修会を引続き開催したほか、一宮税務署のご協力を得て、署長をはじめとする税務署幹部の方々による講演会や税務研修会を実施しました。

ロ 納税意識の高揚を目的とする事業

①地域イベントにおける税金展や税金クイズを「萩原チンドンまつり」、「びさいまつり」、「祖父江イチョウ黄葉まつり」のイベント会場において実施しました。また、前年度に引き続き、愛知

啓成高等学校演劇部による『税を学ぶ演劇 3つの願い』の上演を「稲沢まつり」のイベント会場において実施しました。

②青年部会は、小学生高学年を対象に「楽しんで知る税の勉強会」と題し、日帰りの「1デイキャンプ」を実施しました。子どもたちは自然の中で税について楽しく学び、遊びながら夏休みのひと時を満喫することができました。

③青年部会、女性部会などによる合同事業「租税教室講師派遣事業」では、47名の講師を26の小学校へ派遣し、73回の授業を実施しました。

④当年度は、平成24年度から実施している女性部会主催の「税に関する絵はがきコンクール」は13回目を迎え、48の小学校から2,537点の多くの応募がありました。また、一宮法人会の選考会で選出された最優秀賞作品が、愛知県を代表して評価され、東海四県内における選考で「名古屋国税局長賞」という栄誉ある賞を受賞しました。

⑤広報事業では、年2回、税務研修会等の記事を中心に掲載をして広報誌「つむぐ」を発行しました。今後も内容をより充実させ、税に対する意識高揚を図っていきます。

ハ 税制及び税務に関する調査並びに提言に関する事業

税制委員会を中心として、税制に対する意見を集約し、法人会としての提言を国会議員や地元的首長に手交してその実現を求める活動を行ってきました。

（2）地域経済の活性化と、健全な発展を図るための事業（公益2事業）

イ 地域経済の健全な発展を図るための事業

「企業を守るための大規模自然災害に対する事前対策」をテーマにセミナーをAIG損害保険㈱リスクコンサルティング部の森喜一氏を招いて開催しました。

ロ 地域社会への貢献を目的とする事業

①フリーアナウンサーの笠井信輔氏を招いての文化講演会を開催しました。

②女性部会の社会貢献事業として、旭雅楽会による雅楽コンサートを開催しました。

（3）会員の福利厚生に資する事業（収益事業）

イ 保険事業

法人会は、会員企業の経営者と従業員の保障・福利厚生を支援するため、全法連や愛知県連と連携を取りながら各種保険制度等の普及促進に取り組みました。

ロ 広告掲載事業

会報誌を利用した広告については、従来通り提携先の保険会社を中心にしましたものです。

（4）その他（相互扶助等）の事業（その他事業）

会員の親睦を深めるために、会員一日研修会を複数の支部による合同開催によって積極的に行うことができました。

公益社団法人として、公益事業を中心に取り組んでおりますが、法人会は会員の皆様によって支えられています。限られた予算の中ではありますが、会員の皆様に法人会への加入メリットを実感していただけるよう、引き続き努めてまいります。

令和6年度 正味財産増減計算書内訳表

自 令和6年4月 1 日
至 令和7年3月31 日

(単位：円)

科 目	公益事業会計				収益事業会計			法人会計	合 計
	公 1	公 2	共通	小計	収 1	他 1	小計		
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1)経常収益									
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	4,096	4,096
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	4,096	4,096
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	1,581	1,581
特定資産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	1,581	1,581
受取会費	0	0	2,000,000	2,000,000	0	6,000,000	6,000,000	5,967,000	13,967,000
正会員受取会費	0	0	1,968,211	1,968,211	0	5,904,632	5,904,632	5,872,157	13,745,000
特別会員受取会費	0	0	31,789	31,789	0	95,368	95,368	94,843	222,000
事業収益	72,000	0	0	72,000	819,041	3,394,028	4,213,069	0	4,285,069
広報事業収益	0	0	0	0	168,000	0	168,000	0	168,000
福利厚生事業収益	0	0	0	0	651,041	0	651,041	0	651,041
会員親睦事業収益	0	0	0	0	0	3,394,028	3,394,028	0	3,394,028
公益事業収益	72,000	0	0	72,000	0	0	0	0	72,000
受取補助金等	0	0	23,400,900	23,400,900	0	149,391	149,391	1,731,000	25,281,291
受取県連補助金	0	0	0	0	0	149,391	149,391	1,271,000	1,420,391
受取全法連助成金	0	0	0	0	0	0	0	350,000	350,000
受取全法連助成金振替額	0	0	23,400,900	23,400,900	0	0	0	0	23,400,900
受取全法連補助金	0	0	0	0	0	0	0	110,000	110,000
受取負担金	0	0	0	0	0	1,860,000	1,860,000	0	1,860,000
青年部会受取負担金	0	0	0	0	0	555,000	555,000	0	555,000
女性部会受取負担金	0	0	0	0	0	195,000	195,000	0	195,000
税経部会受取負担金	0	0	0	0	0	1,110,000	1,110,000	0	1,110,000
雑収益	12,120	0	0	12,120	0	164,000	164,000	531,356	707,476
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	17,456	17,456
雑収益	12,120	0	0	12,120	0	164,000	164,000	513,900	690,020
経常収益計	84,120	0	25,400,900	25,485,020	819,041	11,567,419	12,386,460	8,235,033	46,106,513
(2)経常費用									
事業費	21,839,689	3,917,936	0	25,757,625	1,000,846	11,340,031	12,340,877	0	38,098,502
役員報酬	3,547,800	556,200	0	4,104,000	199,800	351,000	550,800	0	4,654,800
給料手当	5,282,461	828,148	0	6,110,609	297,490	522,617	820,107	0	6,930,716
退職給付費用	298,661	46,821	0	345,482	16,819	29,547	46,366	0	391,848
役員退職給付費用	118,260	18,540	0	136,800	6,660	11,700	18,360	0	155,160
福利厚生費	1,445,666	226,641	0	1,672,307	81,414	143,026	224,440	0	1,896,747
事務委託費	78,840	12,360	0	91,200	4,440	7,800	12,240	0	103,440
会議費	299,841	86,973	0	386,814	6,388	4,774,699	4,781,087	0	5,167,901
旅費交通費	1,197,939	87,037	0	1,284,976	20,359	3,436,177	3,456,536	0	4,741,512
通信運搬費	1,687,337	96,982	0	1,784,319	32,205	301,375	333,580	0	2,117,899
繰延資産償却費	16,425	2,575	0	19,000	925	1,625	2,550	0	21,550
消耗什器備品費	80,320	12,591	0	92,911	4,523	7,946	12,469	0	105,380
消耗品費	787,126	56,772	0	843,898	18,441	146,079	164,520	0	1,008,418
印刷製本費	2,394,474	499,317	0	2,893,791	111,184	195,323	306,507	0	3,200,298
光熱水料費	169,023	26,497	0	195,520	9,518	16,722	26,240	0	221,760
賃借料	1,300,860	203,940	0	1,504,800	73,260	128,700	201,960	0	1,706,760
保険料	17,758	1,923	0	19,681	690	28,293	28,983	0	48,664
諸謝金	0	490,000	0	490,000	0	0	0	0	490,000
租税公課	4,449	556	0	5,005	199	2,451	2,650	0	7,655
支払負担金	400,220	0	0	400,220	0	641,020	641,020	0	1,041,240
委託費	539,308	216,542	0	755,850	7,451	13,089	20,540	0	776,390
会場費	317,382	251,840	0	569,222	4,500	53,860	58,360	0	627,582
広告宣伝費	198,000	0	0	198,000	0	92,444	92,444	0	290,444
表彰費	77,000	0	0	77,000	35,000	131,500	166,500	0	243,500
リース料	1,005,442	157,625	0	1,163,067	56,622	99,472	156,094	0	1,319,161
事務所管理費	60,274	9,449	0	69,723	3,394	5,963	9,357	0	79,080

科 目	公益事業会計				収益事業会計			法人会計	合 計
	公 1	公 2	共通	小計	収 1	他 1	小計		
支払手数料	18,073	4,012	0	22,085	729	5,006	5,735	0	27,820
新聞図書費	426,692	18,671	0	445,363	6,707	11,783	18,490	0	463,853
雑費	70,058	5,924	0	75,982	2,128	180,814	182,942	0	258,924
管理費	0	0	0	0	0	0	0	5,649,140	5,649,140
役員報酬	0	0	0	0	0	0	0	745,200	745,200
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	1,109,557	1,109,557
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0	62,732	62,732
役員退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0	24,840	24,840
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	303,655	303,655
事務委託費	0	0	0	0	0	0	0	16,560	16,560
会議費	0	0	0	0	0	0	0	381,665	381,665
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	117,491	117,491
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	604,921	604,921
繰延資産償却費	0	0	0	0	0	0	0	3,450	3,450
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0	0	16,870	16,870
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	75,257	75,257
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	888,512	888,512
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	0	35,502	35,502
賃借料	0	0	0	0	0	0	0	273,240	273,240
保険料	0	0	0	0	0	0	0	2,576	2,576
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	745	745
諸会費	0	0	0	0	0	0	0	318,650	318,650
支払負担金	0	0	0	0	0	0	0	81,000	81,000
委託費	0	0	0	0	0	0	0	27,790	27,790
渉外慶弔費	0	0	0	0	0	0	0	103,020	103,020
リース料	0	0	0	0	0	0	0	211,188	211,188
事務所管理費	0	0	0	0	0	0	0	12,660	12,660
支払手数料	0	0	0	0	0	0	0	199,105	199,105
新聞図書費	0	0	0	0	0	0	0	25,016	25,016
雑費	0	0	0	0	0	0	0	7,938	7,938
経常費用計	21,839,689	3,917,936	0	25,757,625	1,000,846	11,340,031	12,340,877	5,649,140	43,747,642
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 21,755,569	△ 3,917,936	25,400,900	△ 272,605	△ 181,805	227,388	45,583	2,585,893	2,358,871
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 21,755,569	△ 3,917,936	25,400,900	△ 272,605	△ 181,805	227,388	45,583	2,585,893	2,358,871
2. 経常外増減の部									
(1)経常外収益									
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2)経常外費用									
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 21,755,569	△ 3,917,936	25,400,900	△ 272,605	△ 181,805	227,388	45,583	2,585,893	2,358,871
税引前当期一般正味財産増減額	△ 21,755,569	△ 3,917,936	25,400,900	△ 272,605	△ 181,805	227,388	45,583	2,585,893	2,358,871
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	0	71,000	71,000	0	71,000
当期一般正味財産増減額	△ 21,755,569	△ 3,917,936	25,400,900	△ 272,605	△ 252,805	227,388	△ 25,417	2,585,893	2,287,871
一般正味財産期首残高	△ 238,886,698	△ 79,070,953	298,848,639	△ 19,109,012	14,506,883	△ 4,891,294	9,615,589	139,397,745	129,904,322
一般正味財産期末残高	△ 260,642,267	△ 82,988,889	324,249,539	△ 19,381,617	14,254,078	△ 4,663,906	9,590,172	141,983,638	132,192,193
II 指定正味財産増減の部									
受取補助金等	0	0	23,400,900	23,400,900	0	0	0	0	23,400,900
受取全法連助成金	0	0	23,400,900	23,400,900	0	0	0	0	23,400,900
一般正味財産への振替額	0	0	△ 23,400,900	△ 23,400,900	0	0	0	0	△ 23,400,900
一般正味財産への振替額	0	0	△ 23,400,900	△ 23,400,900	0	0	0	0	△ 23,400,900
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0
III 基金増減の部									
当期基金増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基金期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基金期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0
IV 正味財産期末残高	△ 260,642,267	△ 82,988,889	324,249,539	△ 19,381,617	14,254,078	△ 4,663,906	9,590,172	141,983,638	132,192,193

愛知県法人会連合会会長感謝状贈呈



大蔵通商株式会社
五藤 達代 様

一宮税務署長感謝状贈呈



株式会社滝善
滝 幹夫 様



大蔵通商株式会社
五藤 達代 様



株式会社一宮看板店
金子 正三 様



株式会社東海パン
長谷川 正己 様



合名会社近藤商店
近藤 米一 様



岩本製菓株式会社
森 清次 様

株式会社木村硝子店
木村 実 様

退任役員功労表彰



株式会社滝善 滝 幹夫 様



大蔵通商株式会社 五藤 達代 様



加藤安織物株式会社 加藤 恭平 様



株式会社一宮看板店 金子 正三 様



株式会社東海パン 長谷川 正己 様



丸松織布株式会社 平松 誠治 様



合名会社近藤商店 近藤 米一 様



岩本製菓株式会社 森 清次 様

株式会社木村硝子店 木村 実 様

株式会社柴田電機 柴田 裕一 様

定例研修会 出席優良法人

定例研修会出席優良法人106社の代表

株式会社中工



新規増強会員数目標達成支部表彰



三条支部



大江支部



稲沢支部



祖父江支部



丹陽支部



貴船支部

令和6年度 定例研修会 出席優良法人名簿

(順不同・敬称略)

支部名	法人名	支部名	法人名	支部名	法人名
栄 (4社)	大鹿株式会社 ※	丹陽 (7社)	有限会社アオヤマ工務店	朝日 (5社)	後藤種苗株式会社
	リシャルリソ・ホールディングス株式会社 ※		SKA 有限会社		伸和ウール株式会社
	サカエ興産株式会社 ※	奥 (3社)	横貴繊維工業株式会社 ※	稲沢 (17社)	株式会社愛和産業 ※
	長大株式会社 ※		時田毛織株式会社		株式会社永井水道設備 ※
神山 (9社)	有限会社大野ビル ※		時田株式会社		有限会社愛光地所企画 ※
	大同生命保険株式会社一宮営業所 ※	萩原 (3社)	株式会社フジカワ商事 ※		有限会社山文 ※
	尾州倉庫株式会社 ※		アカヲ種苗株式会社		株式会社ワールド・クリーン ※
	株式会社エサキホーム ※	今伊勢 (2社)	株式会社ラカム		ARC 株式会社
	中野建設株式会社 ※		株式会社ガステム		株式会社寿原テクノス
	エルモ株式会社	大和 (4社)	有限会社炭彦商店		日軽稲沢株式会社
	江崎織物株式会社		有限会社きむらメゾン ※		丸徳輸送株式会社
	東海物流株式会社		国島株式会社		丸徳商事株式会社
	株式会社東海流通サービス		株式会社クインスタイル		丸美急配株式会社
宮西 (5社)	昭和土建株式会社 ※	株式会社東京ベルダム	株式会社東京ベルダム		丸徳産業株式会社
	株式会社江崎製作所	浅井 (1社)	共和紙業株式会社		有限会社カトウエンジニア
	ダイショーファッションテキスタイル式会社		有限会社ミチハタ工業		株式会社びあ大塚
	ディーエス企画株式会社	西成 (5社)	株式会社祖父江組		株式会社高桑銅業
	有限会社吉田洋家具製造所		株式会社中村工業		株式会社朋和設計
向山 (1社)	榊原建設株式会社 ※		株式会社カネショウ工務店	木曽川 (10社)	株式会社山田造園土木
			有限会社指彦建具木工所		株式会社中工 ※
大江 (3社)	有限会社宮企画 ※	千秋 (1社)	有限会社後藤聡業		和弘産業株式会社 ※
	有限会社オールド ※		みづほ興業株式会社		株式会社プログリット ※
	株式会社加茂鋳金工業所	起 (2社)	合資会社小塚商店		株式会社岩道建設
せんい (9社)	モリリン物流株式会社 ※		大徳 (1社)	匠染色株式会社 ※	有限会社ビックウイング
	モリリン株式会社 ※	三条 (4社)	伝興産株式会社 ※		株式会社ヤギジョー
	有限会社辰巳殖産 ※		中伝毛織株式会社 ※		ビシユウ機械株式会社
	中島株式会社 ※		株式会社吉田組 ※		株式会社五藤組
	株式会社テクノライト		渡玉毛織株式会社 ※	北方 (2社)	尾州物流株式会社 ※
	株式会社ライト	小信中島 (3社)	有限会社郷東ビル ※		株式会社梅田物産
	株式会社イチケン		株式会社山田家具 ※	祖父江 (5社)	みずほコンクリート株式会社 ※
	株式会社イチテック		今信毛織株式会社		美吉建設株式会社 ※
	ササキセルム株式会社	朝日 (5社)	株式会社志水製作所 ※		社会福祉法人祖父江愛照会 ※
丹陽 (7社)	大森石油株式会社 ※		東海企業株式会社 ※		丸金土建株式会社
	川村電機株式会社 ※		一榮工業株式会社		株式会社サクラファーム
	有限会社サンパック			計	106社
	有限会社タック				
	シゲマツ有限会社				

法人名の※印はすべて参加した法人

一宮税務署長インタビュー



一宮税務署長インタビューを行いました

Q₁ ご経歴についてお聞かせください

昭和63年4月に採用され、昭和税務署を振り出しに、その後は名古屋国税局調査部、中川税務署、尾張瀬戸税務署、名古屋西税務署、名古屋国税局国税広報聴室、税務大学校名古屋研修所、津島税務署、名古屋国税局総務部人事第二課、桑名税務署、岡崎税務署で勤務しました。そのほかに、名古屋国税不服審判所、名古屋派遣国税庁監察官でも勤務経験があります。

なお、一宮税務署は、初めての勤務となります。また、最近は、
令和3年 名古屋国税局 調査部 調査第五部門統括官
令和4年 名古屋東税務署長
令和5年 名古屋国税局 調査部 調査開発課長
令和6年 名古屋国税局 調査部 広域情報管理課長を経て、本年7月から現職に就きました。

Q₂ 一宮署着任の抱負等はいかがでしょうか

伝統を守りながら、新しく発展を上げている一宮法人会の皆さんを見習って、税務職員としての使命感を胸に、様々な変化にも柔軟に対応しつつ新たな

職務に果敢に挑戦する職員を育てていきたいと考えています。

Q₃ 座右の銘又は大切にされているお言葉や信条など、お聞かせください

根は楽道家なので、ピンチの時も「何とかなる、何とかする」と思うようにしています。これは、トラブルなどに対し、周りの人の助けを借りながら乗り切るための呪文のようなもので、不思議と今まで周囲の方のおかげでピンチを乗り切れたように思います。

Q₄ ご趣味や嗜好について、お聞かせください

体を動かすことが好きで、時間があれば週に1～2回、ジムでゆるく筋トレをしたり、これまたゆるいヨガをしています。母が転倒骨折したことがきっかけで始めました。「転ばぬ先の筋トレ」です。

Q₅ 一宮法人会及び活動に対して一言ご意見をください

一宮法人会の皆様が、経営者としての役割を果たしつつ、社会貢献活動や税のオピニオンリーダーとして納税意識の高揚と税知識の普及・啓蒙活動を積極的に進めていらっしゃることに對しまして、心より感謝申し上げます。

近年はグローバル化やデジタル化の急速な進展により、経済社会が大きく変化していますが、税務行政もDXを推進して納税者の皆様の利便性の向上や課税・徴収事務の効率化・高度化に努めてまいります。

企業の皆様が行う様々な業務が一貫してデジタル化されることで、業務の効率化や単純誤りの防止による正確性の向上につながることを期待されています。

税に関するデジタル関係施策のご紹介
中小企業の方はこちら



〈参加メンバー〉加藤広報委員長・早川広報副委員長・森広報委員の3名

一宮税務署副署長インタビュー



出身地 石川県
岡本 雅則
一宮税務署筆頭副署長
おかもと まさのり

『一生懸命』

Q₁ ご経歴についてお聞かせください

平成3年4月に採用となり、富士税務署を振り出しに、関税務署に勤務したほか、名古屋中村税務署などで勤務いたしました。

また、最近におきましては、令和2年 関税務署 総務課長

令和4年 伊勢税務署 総務課長

令和5年 名古屋北税務署 総務課長

令和6年 名古屋国税局総務部税務相談室 主任税務相談官

を経て、本年7月から現職に就きました。

Q₂ 一宮署着任の抱負等はいかがでしょうか

近年、経済社会のグローバル化やデジタル化が急速に進展し、社会全体が大きな転換期を迎える中で、私たちの税務行政を取り巻く環境が大きく変化しています。

国税庁の使命である「納税者の自発的な納税義務の履行を適正かつ円滑に実現する。」を果たすため、この経済社会の変化に柔軟に対応し、納税者の申告・納税の際の利便性の向上と納税者サービスの充実に

努めるとともに、適正かつ公平な賦課及び徴収を実現するため、厳正かつ的確な調査・徴収に全力を挙げて取り組んでいきたいと考えております。

また、国税庁において、日々進化を続けるデジタル技術の積極的な活用を図る「税務行政のDX（デジタルトランスフォーメーション）」を推進するため、様々な取り組みを行ってまいりますが、特に納税者の皆様の利便性の向上の面から、税務署に行かなく

ても手続きができるe-Tax及びキャッシュレス納付の更なる利用拡大に努めてまいりたいと考えております。

Q₃ 座右の銘又は大切にされているお言葉や信条など、お聞かせください

「一生懸命」という言葉を大切にしています。うしたらよかったと後悔が必ずついて回ります。皆様もご存知のとおり、全力を尽くして物事に取り組みという意味になります。その時の自分が精一杯やったことなら、失敗しても、また次頑張るぞとモチベーションが保たれると思っています。中途半端に物事を取り組んだ場合には、あの時こ

Q₄ ご趣味や嗜好について、お聞かせください

この頃、運動不足と言われることが多く、できる限り歩くようにしています。気分転換を兼ねて、週に1回は10キロ程度歩いています。数年前に知多半島の88カ所の霊場があると知り、

Q₅ 一宮法人会及び活動に対して一言ご意見をください

一宮法人会の皆様には、税に関する広報活動や研修会、講演会など公益性の高い社会貢献活動に積極的に取り組んでいただいているほか、租税教室の講師派遣、絵はがきコンクールをはじめとした租税教育の推進など税務行政に多大な貢献をいただいております。感謝申し上げます。

今後とも、皆様方と情報共有・意見交換を積極的に行い、今までの信頼関係を更に深めてまいりたいと考えております。

皆様には、税の良き理解者として、引き続きお力添



一宮税務署 着任あいさつ

一宮税務署 法人課税第一部門 統括国税調査官

むら せ まさし 村瀬 正



この度の定期人事異動により、法人課税第一部門の統括官としてまいりました村瀬と申します。

前任は、静岡県の浜松東税務署で法人課税第一部門の統括官を務めておりました。

一宮税務署勤務は3回目となりますが、管内の印象としては、真清田神社や尾張大國霊神国府宮など由緒ある寺社や、ツインアーチ138などの観光スポットがあるほか、一宮市を中心とした尾州地域は毛織物の産地として発展を遂げ、今もその知識と技術が継承されているなど、伝統を大切にしている地域だと思っています。

また、今年で70回目の「一宮七夕まつり」を拝見し、暑

さに負けない熱気ある祭りを間近で体験し、パワーをもらえたような感じがしました。

前任者からは、一宮法人会の皆様方から税務行政に対して深いご理解とご協力を賜っており、各種行事を通じ、税知識の普及や、納税意識の向上をはじめ、地域社会への社会貢献にも積極的に取り組んでおられると聞いております。

私も法人会の行事に参加させていただき、皆様と一緒に取り組んでいきたいと考えておりますので、どうかよろしくお願いいたします。

新任・留任関係係官の紹介

氏 名	新任役職	出身地	前任部署等	座右の銘（モットー等）
住岡 実	副署長 （総務・個人・資産担当）	大阪府	（留任）	失敗は成功のもと
早矢仕智美	総務課長	岐阜県	松阪税務署 総務課長	不撓不屈
堀 善典	筆頭特別国税調査官 （法人調査（法人税等）担当）	三重県	名古屋中税務署 筆頭特別国税調査官 （法人調査（法人税等）担当）	Que sera sera （ケ セラ セラ）
所 基裕	特別国税調査官 （法人調査（法人税等）担当）	岐阜県	名古屋中税務署 法人課税部門 審理専門官 （源泉所得税担当）	健康第一
村瀬 正	法人課税第一部門 統括国税調査官	岐阜県	浜松東税務署 法人課税第一部門 統括国税調査官	元気があれば 何でもできる
長江 明洋	法人課税第二部門 統括国税調査官	愛知県	（留任）	一生懸命
松井 美佳	法人課税第三部門 統括国税調査官	愛知県	一宮税務署 法人課税部門連絡調整官 （兼 法人課税第一部門 総括上席国税調査官）	笑う門には福来る
河原 勝	法人課税第四部門 統括国税調査官		名古屋中税務署 法人課税第二部門 統括国税調査官	人間万事塞翁が馬
中村 圭子	法人課税第五部門 統括国税調査官	大阪府	（留任）	運命は勇者に微笑む
伊藤 綾子	連絡調整官 （兼 法人課税第一部門 総括上席国税調査官）	愛知県	名古屋中村税務署 総務課長補佐	為せば成る
村松 弘邦	法人課税第一部門 上席国税調査官 （審理担当）	愛知県	津税務署 法人課税第一部門 上席国税調査官 （審理担当）	簡潔明瞭
近藤 杏季	法人課税第一部門 上席国税調査官 （審理担当）	愛知県	熱田税務署 法人課税第一部門 上席国税調査官	迷ったらやってみる

（順不同・敬称略）

令和7年 全法連功労者表彰

塚 本 雅 弘	塚本印刷株式会社
佐 々 憲 一	東和工業株式会社
矢 野 尚 彦	株式会社中工
小 柳 宏	専務理事
神 谷 聖 子	事務局職員

（順不同・敬称略）

令和7年 県連会長表彰

大 鹿 晃 裕	大鹿株式会社
時 田 典 幸	時田毛織株式会社
野 田 邦 彦	ノダックスコーポレーション株式会社
森 清 次	岩本製菓株式会社
廣 瀬 ふ み 子	有限会社ヒロセ通信
鈴 木 正 子	鈴木自動車株式会社
田 邊 好 弘	事務局長

いつでも
どこでも
簡単納付

e-Tax

エル タックス
eLTAX

国税庁e-Taxキャラクター：イータ君

elTAXイメージキャラクター：エルレンジャー

The graphic features a green stylized character 'イータ君' (Eta-kun) on the left, a yellow double-headed arrow with the text 'いつでも どこでも' (Whenever, wherever), and the large orange text '簡単納付' (Simple payment). Below the arrow is a blue credit card and a laptop. On the right is a red character 'エルレンジャー' (Elrenja) with a 'T' on its chest. The 'e-Tax' logo is in green at the bottom left, and the 'eLTAX' logo with 'エル タックス' is at the bottom right. Small text at the bottom identifies the characters: '国税庁e-Taxキャラクター：イータ君' and 'elTAXイメージキャラクター：エルレンジャー'.



LTA 地方税共同機構
LOCAL TAX AGENCY



一般社団法人 **全国地方銀行協会**
REGIONAL BANKS ASSOCIATION OF JAPAN

一般社団法人 **第二地方銀行協会**
The Second Association of Regional Banks



※令和6年4月からe-Taxでご利用いただけるほか、民間のソフトウェア開発事業者が提供する各種会計ソフトにも順次対応を依頼しています。

源泉所得税を毎月納付する方など
納付の機会が多い方

A green cartoon character with a square head and a friendly expression is holding a tablet. The character is wearing a green shirt with a small white logo. The background is a solid blue color.

①申告等データ送信

②メッセージの受信

③ダイレクト納付手続



①申告等データ送信
+
ダイレクト納付手続

 **POINT !**

自動ダイレクトを利用すると、口座引落日は各申告手続の法定納期限になります。

※法定納期限当日に自動ダイレクトの手続をした場合は、その翌取引日。

申告等データ送信画面でチェックを入れるだけで簡単納付♪

個人番号又は法人番号	個人番号又は法人番号の入力が不要な手続きです。
提出先税務署等	地町税務署
添付書類	なし
提出年月日	令和6年5月27日

自動ダイレクト

本申込は自動ダイレクトの対象です。**自動ダイレクトとは**
※貴社により法定納税期限が延長されている方は、口座引落日等についてこちらを必ずご確認ください。

☒ 私(当社)は、申告した納税額について、自動ダイレクトを利用し、下記の口座からの引落しにより納付します

申告と納付手続きが同時に完了!!

詳細は国税庁ホームページ
「自動ダイレクト」をご覧ください。



自動ダイレクトの利用方法は
「ダイレクト納付(e-Taxによる口座振替)
マニュアル」をご覧ください。



年末調整手続の電子化で 業務の効率化

みなさん！年末調整の
業務を効率化してみませんか？



何をすればいいですか？



答えは、
**年末調整手続の
電子化！**



年末調整手続の電子化のメリット

勤務先（給与の支払者）	従業員（給与所得者）
① 関係書類の配付や回収が不要！ ② 控除額や添付書類のチェックが簡単！ ③ 会社のシステムへの手入力作業が不要！ ④ 書類の保管場所も不要！	① 手書きでの書類作成が不要！ ② 控除額はソフトが自動計算！ ③ テレワーク中の従業員も提出可能！ ④ マイナポータル連携を利用すれば、 保険料等の証明書をまとめて取得可能！

次頁もご覧ください



年末調整手続の電子化とは

次の処理を「年末調整手続の電子化」と言います。

- ① 従業員が控除証明書等をデータで取得し、これを利用して年末調整に関する申告書をデータで作成
- ② 勤務先が従業員から年末調整に関する申告書及び控除証明書等のデータ提供を受け、このデータを利用して年税額を計算



年末調整手続の電子化に必要な準備の詳細は、
こちらをご覧ください。



従業員による3ステップ

発行主体



マイナポータル

1. 準備

控除証明書等を
データで取得※



2. 作成

申告書を
データで作成



勤務先の給与担当



3. 提出

勤務先に
データで提出

※ 控除証明書等は、その控除証明書等の発行主体（保険会社等）から取得してください。
なお、マイナポータル連携を利用することで、控除証明書等のデータを一括取得できます。

国税庁では、「年末調整控除申告書作成用ソフトウェア」（年調ソフト）を無償で提供しています。※

※ 年調ソフトでは、給与の収入金額や配偶者の情報等を入力することにより、
定額減税に対応した年末調整に関する申告書を作成します。





講師
フリーアナウンサー
笠井 信輔氏

令和7年3月15日(土)
会 場／尾張一宮駅前ビル(i-ビル) 7階 シビックホール
参加者／320名



去る3月15日、公益社団法人一宮法人会の社会貢献事業として、フリーアナウンサーの笠井信輔氏が「足し算で生きる」を演目に講演されました。

当日は300人を超える大盛況で、杖をつかれたご高齢のお客様も見受けられ、困難を乗り越えるためのヒントを得たいという方々の熱い思いを感じました。

笠井氏はフジテレビのアナウンサーとして活躍されたのち、56歳の時、フリーになって2カ月でステージ4の癌と診断され、死を覚悟されたそうです。

「報道は命を懸けて突っ込んでいくもの」とペルー大使公邸占領事件では、実弾入りの拳銃をこめかみに当てられながらも、報道第一に完遂されました。熱血漢のお人柄、これからというときに癌の宣告は、さぞかし苦しいものだったでしょう。

しかし、この絶望から、見事な復活を遂げる笠井氏です。

「死を覚悟しながらもやらなきゃな」と治療や入院生活の質を上げ、眉メイクなど見た目を整え、自分を生ききる人生会議を開き、抗がん剤は幸運剤とまで言わしめます。ステージ4から完全寛解

までの、心持ちや、工夫を話され、「我慢は美德」ではなく、医療が進んでいるので、患者が医師に希望を伝え、ともに生きる力をつけていくことが大切とのことでした。

無い物を悲しむより、今ある無数の結ばれた縁で、前に進む、ここに、人生の醍醐味があると教えていただいたと思います。

笠井氏のますますのご活躍をお祈りいたします。

(報告者：事業委員 吉田恵美子)



令和7年 税制セミナー

令和7年2月5日(水)

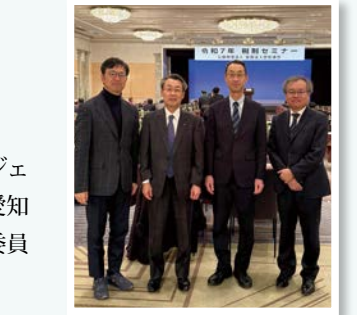
令和7年2月5日、全国法人会総連合主催による令和7年税制セミナーが、ハイアットリージェンシー東京での会場開催とライブ配信のハイブリット開催で行われた。一宮法人会からは、愛知県法人会連合会税制委員会の光松委員長、一宮法人会税制委員会の土川副委員長、梅谷副委員長、塚本の4名が出席した。

第一講座では、財務省大臣官房審議官の田原芳幸氏から「令和7年度税制改正(案)」と題して、税財政の現状報告の後、令和7年度税制改正の主要項目である「物価上昇局面における税負担の調整及び就業調整への対応」等の説明が行われた。

- ①物価動向を踏まえ、所得税の基礎控除を最高48万円から最高58万円に10万円引上げ。
- ②物価上昇や就業調整への対応として、給与所得控除の最低保障額を55万円から65万円に10万円引上げ。
- ③学生アルバイトの就業調整への対応として、19歳～22歳の子の給与収入が150万円までは親が所得控除(63万円)を受けられる特別控除を創設。

その他、老後に向けた資産形成の支援、子育て支援に関する政策税制、中小企業の取組みを後押しする税制、防衛力強化に係る財源確保のための税制措置などの説明があった。

第二講座では、東京財団政策研究所研究主幹 森信茂樹氏から「今後の税・社会保障のあり方について」と題して、税と社会保障一体改革の必要性について講演がなされた。



支部のうごき R7.1～R7.8

支部役員会・役員総会

稲 沢 支 部	1月 14日(火)
祖父江支部	1月 28日(火)
平 和 支 部	3月 6日(木)
貴 船 支 部	3月 17日(月)
稲 沢 支 部	4月 18日(金)

祖父江支部	5月 9日(金)
丹 陽 支 部	7月 4日(金)
今伊勢支部	7月 10日(木)
大 志 支 部	7月 22日(火)
本 町 支 部	7月 22日(火)

宮 西 支 部	7月 22日(火)
貴 船 支 部	7月 22日(火)
富 士 支 部	7月 22日(火)
向 山 支 部	7月 22日(火)
大 江 支 部	7月 22日(火)

稲沢支部税務研修会

テーマ：いまさら聞けないインボイス制度のキホン

開催日：令和7年1月29日(水) 参加者：15名

会 場：稲沢商工会議所

講 師：一宮税務署法人課税第一部門
統括国税調査官 久保 和巳 様



会員一日バス研修会

萩原支部バス研修	4月21日(月)	静岡	25名
----------	----------	----	-----



萩原支部(秋葉神社)

税経部会 第71回 税経部会通常総会 - 創立70周年記念式典 -

令和7年5月20日(火)

会場／一宮商工会議所大ホール 参加者／36名

第71回通常総会は来賓に正田署長、長谷川筆頭副署長、久保法人課税第一部門統括国税調査官をお迎えし、開催された。

議事に先立ち、豊島会長より税経部会70周年を記念して祝辞をいただきました。

続いて、議事に入り、第1号議案として令和6年度事業報告並びに収支決算報告、第2号議案として役員改選、第3号議案として令和7年度事業計画案並びに収支予算案が上程され、いずれも承認可決され、総会は終了した。

引き続き、来賓に正田署長、長谷川筆頭副署長、久保法人課税第一部門統括国税調査官、三嶋啓一直前部長をお迎えし、税経部会創立70周年記念式典が開催された。

税経部会創立70周年記念式典は、遠藤部会長の挨拶にて始まり、正田署長並びに三嶋啓一直前部長よりご祝辞をいただき、税経部会70年の歩みを振り返る映像を観て終了した。式典後には正田税務署長による記念講演「国民性に学ぶ税についての考え方」が開催され、その後懇談会が行われ、盛会の内に式典を終了した。



遠藤税経部会長挨拶



税経部会 税経部会例会

税経部会経済講演会(一宮商工会議所主催:日銀名古屋支店長経済講演会)

・令和7年2月3日(月) 参加者／72名

会場／一宮商工会議所 3階 大ホール

テーマ／最近の金融経済情勢と今後の展望

講師／日本銀行名古屋支店 支店長 堂野 敦司 様



日銀名古屋支店長経済講演会

税経部会例会

・令和7年4月18日(金) 参加者／26名

会場／一宮商工会議所 402室

テーマ／令和7年度税制改正(案)について

講師／一宮税務署法人課税第一部門

統括国税調査官 久保 和巳 様

法人課税第一部門

国税調査官 河野 里紗 様



4月例会

・令和7年8月5日(火) 参加者／28名

会場／一宮商工会議所 301・302室

テーマ／社会保険の最新の動向と実務のポイント

講師／社会保険労務士法人 大和T&M

特定社会保険労務士

産業カウンセラー

加藤 武志 様

税経部会では、企業の経営者や経理担当者を中心としたメンバーにより、年に5～6回にわたり税に関する勉強会や講演会を行っています。写真は一宮商工会議所主催の日銀名古屋支店長経済講演会、4月例会の模様です。

女性部会 第38回 女性部会通常総会

令和7年5月14日(水)

会場／合掌レストラン大蔵 参加者／30名

公益社団法人 一宮法人会女性部会の第38回通常総会が来賓に一宮税務署より正田署長、長谷川筆頭副署長、久保法人第一部門統括国税調査官をお迎えし、開催されました。

総会議事では五藤部会長の議長とし、第1号議案「令和6年度事業報告並びに収支決算報告」、第2号議案「役員選任に関する件」では、3期6年にわたり、部会長を務められた五藤達代氏に変わり、上林公子氏が就任されました。第3号議案「令和7年度事業計画案並びに収支予算案」が上程され、いずれも承認可決されました。

総会の議事に続き、この度部会長を退任された五藤様へ新部会長の上林様より花束贈呈が行われました。その後、正田署長様より祝辞を頂戴しました。

総会の後の食事会では、部会員同士話がはずむとともに、「悠情楽団」による演奏を楽しみました。



五藤女性部会長挨拶



花束贈呈



正田署長祝辞

女性部会 自主点検チェックシート活用セミナー

令和7年2月19日(水)
会 場／尾張一宮駅前ビル(i-ビル)2階大会議室
参加者／23名
講 師／一宮税務署法人課税第1部門
統括国税調査官 久保 和巳 様



青年部会 第46回 青年部会通常総会

令和7年5月21日(水)
会場／尾張一宮駅前ビル(i-ビル) 参加者／31名

第46回通常総会は来賓に、一宮税務署から正田署長、長谷川筆頭副署長、久保法人課税第一部門統括国税調査官をお迎えし、開催された。

第1号議案は令和6年度事業報告並びに収支決算報告、第2号議案の役員選任では、岡田真志氏から野田一郎氏に部会長がバトンタッチされ、新副部会長に土川功介氏、三橋進氏が選任され、新任理事には大西好伸氏、木村匡志氏、小島大樹氏、鈴木圭右氏、野杵晃充氏、夫馬敦士氏、水谷太紀氏の7名が選任された。また、江崎正和氏が新たに監事に就任された。第3号議案として令和7年度事業計画案並びに収支予算案が上程され、いずれも承認可決された。

議案審議のあと、卒業生に対し記念品贈呈が行われ、正田署長よりご祝辞をいただいた。総会後には青木俊憲様、永井伸治様から「青連協について」と題し、岡田相談役がインタビュアーとなり、青木俊憲様が青連協会長時代を振り返って語るとともにその当時会長を側面から支えてきた永井伸治様にもお話をいただき、インタビュー形式による講演が行われた。

また、総会後の懇談会において、卒業生の方による卒業の挨拶があり、盛会の内に会を終了した。



岡田部会長・野田新部会長



正田署長祝辞



左側：永井先輩、右側：青木先輩

青年部会 税務研修会

令和7年3月18日(火)
会 場／一宮商工会議所 4階 402室
参加者／13名
テーマ1／令和7年度税制改正(案)について
講 師／一宮税務署法人課税第一部門
統括国税調査官 久保 和巳 様
テーマ2／愛知県法人会青年部会連絡協議会について
講 師／青年部会監事 安井 祥人 様



令和7年度税制改正(案)について、具体的にわかりやすく説明を受け、特に年収103万円の壁に係る改正の説明を受けた。また、愛知県青連協副会長である安井監事からは、愛知県法人会青年部会連絡協議会における事業について、説明を受けた。

青年部会 出張租税教室

令和6年度、青年部の新事業として「出張租税教室」を開催しました。

中学進学と同時に親元を離れ、夢に向かって努力する子供たちが一宮税務署管内にも多くいることを知り、地元経営者として親世代として応援したいという思いから企画したものです。

2024年12月21日(土)に、甲子園優勝経験を持つ名門・仙台育英学園の附属中学校である秀光中学の硬式野球部を訪問し、租税教室を実施しました。同校には稲沢市立大里東小学校出身で、WBSC U12日本代表にも選ばれた将来有望な宮野瑛心君(当時中学2年)が在籍しており、全国から集まった仲間とともに勉強とスポーツの両面で努力を続けています。

当日は、野球部員14名と監督・コーチ、青年部会員5名が参加し、中学生向けに所得税の基礎学習や「ご案内します アナザーワールドへ」の視聴の後、4チームに分かれて税金に関するディスカッションを実施しました。初めて触れる内容に戸惑いながらも、少人数での開催により質問しやすい環境となり、税への理解が深まった様子でした。

最後に子供たちの今後のさらなる活躍を期待し、記念品としてキャッチャー用のプロテクターを贈呈しました。

いつの日か、彼らが大きく成長して社会の第一線で活躍し、一宮税務署管内をはじめそれぞれの故郷に戻っていくことを願っています。

最後に、本事業の開催にあたりご協力いただいた秀光中学野球部の皆さんならびに新事業の申し出を快く受け入れてくれた法人会事務局の皆様、心より感謝申し上げます。

(報告者：青年部会 相談役 岡田真志)





青年部会 地域社会貢献事業

1Dayキャンプ2025

in すぎのこキャンプ場スイス村

令和7年8月20日(水)
参加者/51名(スタッフを含む)



2025年度 サマーキャンプレポート

今年も一宮法人会では、地域の子どもたちを対象に「サマーキャンプ」を開催しました！

舞台は、自然いっぱいの関市板取にある「杉の子キャンプ場スイス村」。8月20日(水)、30名を超える元気いっぱいの子どもたちが集まってくれました。

◎出発からワクワク！

バスの中では、恒例となった「税金クイズ大会」で大盛り上がり！

「えっ、そうなんだ！」と驚きの声や「もっと勉強したい！」という感想もあり、楽しく学びながらキャンプがスタートしました。

◎鮎つかみ取りに挑戦！

川に入るのはちょっとドキドキ…。最初は冷たい水に足をすくめていた子どもたちも、声を掛け合いながら挑戦し、最後はみんなが鮎をつかまえることができました！

つかまえた鮎はその場で塩焼きに！さらにお肉や野菜を加えたバーベキューも楽しみ、みんなおなかいっぱいになりました。

◎川遊び！

午後はライフジャケットを着けて川遊びへ！流れの強さに負けそうになったり、石で滑ったり…自然ならではの大変さも体験しました。

最後には、大人の手を借りず自分たちの力でゴール地点までたどり着く事が出来ました。

◎成長した子どもたちの姿

今回のキャンプでは、普段できない体験を通して「挑戦する勇氣」「仲間と協力する大切さ」を学んでくれました。

帰るときには、みんな一回り成長したようなキラキラした表情を見せてくれました。

今回のサマーキャンプが、子どもたちの夏休みの大切な思い出になり、これからの生活や学びにつながることを願っています。

ご協力いただいた 株式会社エアロクルーズのスタッフの皆様、青年部会・事務局の皆様、本当にありがとうございました！

(報告者：青年部会副部長 宮野 剛至)

一宮税務署長講演会

令和7年1月22日(水) 会場／一宮商工会議所大ホール 参加者／77名
 テーマ／相続税と儲かる？行動経済学 ～物事の本質を見極める～



1. 相続税について。「紀州のドンファン」の事件を例に、自筆証書遺言・公正証書遺言を作成しておくのが良い。
 2. 行動経済学について。人はメニューに「松竹梅」三段階あると、竹を選ぶことが多い。また商品が残り少ないとなるとよく売れる。通販など返品可とあってもまず返品する人は少ない。さらに宝くじの当選確率にも触れられ、当たりがよく出ると言われる売り場で買っても、他のどの売り場で買っても確率は同じなのに、つい買ってしまう。(当選還元率は

46% 地方自治体へ40% 諸経費14%で、購入額三千円の内40%の千二百円はすでに地方自治体に納税しているため、当選金には課税されない。)

こうした人の行動や心理を研究してマーケティング戦略に役立てようとする「行動経済学」についてと、このボリュームのある二つのテーマを時間内に、メモを取ることも追いつかないほどのスピードでお話いただきました。

そして「売る」ための戦術に惑わされることなく本質を見極める力を持つことが必要であるとされました。確かにテレビショッピングでは売上数や残数が表示されたり、この値段で提供されるのは次回いつになるかわからないなどと言われたら、つい乗せられて「ポチッ！」としてしまう私には耳の痛いお話でした。惑わされず見極める！心致します。

署長様にはお忙しい中ご講演いただきありがとうございます。会場内の方々の気持ちを掴んだ楽しいご講演でした。感謝申し上げます。

(報告者：女性部会副部長 森 久江)



第13回 税に関する絵はがきコンクール



絵はがき
入賞作品
選考会

令和6年11月21日(木)
会場／一宮商工会議所402室

絵はがき
コンクール
表彰式

令和7年1月26日(日)
会場／尾張一宮駅前ビル(i-ビル)7階
シビックホール



一宮税務署

確定申告会場(FDC)



新聞記事

令和6年度税に関する 絵はがきコンクール

第13回コンクールには
一宮市・稲沢市の小学校48
校より2,537点の応募を
いただきました。



最優秀賞

一宮市立 大和東小学校
原 いろは さん



一宮法人会長賞

一宮市立 今伊勢小学校
傍島 璃乃羽 さん



一宮税務署長賞

稲沢市立 稲沢北小学校
深津 冴月 さん

優秀賞



一宮市立
大和東小学校
大島 凛花 さん



一宮市立
葉栗小学校
小川 実織 さん



一宮市立
千秋東小学校
五味 芽子 さん



稲沢市立
大塚小学校
佐藤 碧音 さん



稲沢市立
坂田小学校
友松 彩芽 さん

入選



一宮市立 貴船小学校
安齋 芽空 さん



一宮市立 浅野小学校
大野 由朱希 さん



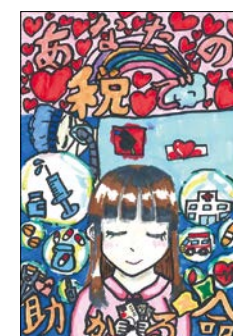
一宮市立 朝日東小学校
大橋 楓果 さん



一宮市立 向山小学校
磯谷 莉子 さん



一宮市立 今伊勢西小学校
梶原 結衣 さん



一宮市立 貴船小学校
神戸 日葵 さん



一宮市立 神山小学校
小島 理心 さん



一宮市立 神山小学校
金森 姫花 さん



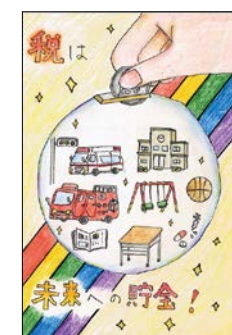
一宮市立 奥小学校
五藤 喜子 さん



一宮市立 貴船小学校
小松 佳奈 さん



一宮市立 浅井中小学校
嶋田 和奏 さん



一宮市立 神山小学校
高尾 百花 さん



一宮市立 奥小学校
中井 結愛 さん



一宮市立 萩原小学校
服部 花奈 さん



一宮市立 北方小学校
平光 芹那 さん



一宮市立 貴船小学校
増田 実桜 さん



一宮市立 奥小学校
中尾 あき さん

租税教室 講師派遣事業

R6.9～
R7.7

令和6年度 2・3 学期～令和7年度 1 学期 開催実績

令和6年度 2・3 学期		令和7年度 1 学期	
講師派遣校数	8 校	講師派遣校数	17 校
派遣講師数	のべ23 名	派遣講師数	のべ50 名
実施授業数	23 回	実施授業数	50 回



租税教室（物流ウィークリー 6月26日掲載）

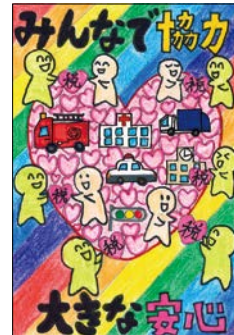
私達法人会青年部は税のオピニオンリーダーとして、租税の理解、納税意識の高揚と税知識の普及啓蒙に務めることを責務とし、毎年法人会管内の小学校さんに協力していただき、6年生を対象とした租税教室を継続実施しております。この租税教室は子供たちの授業の1時間をいただき、我々青年部が講師として教壇に立たせてもらう中々普段の生活では味わえない1時間です。もちろん講師となるには、先輩青年部の方々から講習を受け、合わせて税務署にての講習も受けます。逆に先輩講師や模擬講師の授業風景を見れば見るほど不安でしかなくなります。6年生の子供たちの前で本当の1時間先生になるのだから、子供たちには必ず何か税についての気づきや、それぞれの考えをもってもらいたい、と思う反面自分にそれができるのだろうか？やっぱり不安だ。でも、私が受け持つ学校の予定は決まっています。先輩方の計らいで私の子供が通っている小学校、子供の友達や、私自身がPTAとしてお世話になっている学校でしたので担当の先生や校長先生、教頭先生も味方です。あとは私自身の子供たちに伝える租税教育をまとめるだけ。授業の軸となるのは税務署で準備いただいている資料やアニメ動画ですが、子供たちとのコール＆レスポンスをまずは繋ぎたかったので、先生を巻き込んでの簡単な税金クイズ。内容も子供達自身が納税の機会のある消費税について。緊張している講師を応援するかの如く先生や子供達が盛り上げてくれて楽しくすすめることが出来ました。普段何気に払っている消費税やその他の税ですが、子供たちの視点からだと講師の私自身にも気づきをくれます。子供達自身も考え意見を沢山だしてくれます。次年度にまた講師を務める前には前年の子供たちの視点をいかして授業を練ります。こうやって先輩方が繋げてくださった租税教育が受け継がれてきたのだと実感しました。各学校の先生方も大事な授業の1時間を法人会を信頼し提供していただいている事に感謝し、税知識の普及啓蒙に務めていきます。授業の最後には休憩時間に割り込んでも、子供たちが近くにきてくれて模擬お札を持ちあげたり、触れたりしながら講師に色々な話をしてくれます。授業の感想や、税金の事、雑談も沢山。1時間の授業をするには準備の時間も必要ですし、仕事の合間を縫っての講師活動にはなるのですが、私自身の有意義な時間にもなります、法人会の根幹の納税意識・税意識の向上に役立ちますので是非他の会員の皆様にも参加おすすめいたします。受け入れていただけてます学校関係者の方々、資料作成頂いてる税務署関係者の方々、そして後進の育成にご尽力いただけてます先輩方本当にありがとうございます。私はまだ2年目講師ですがこれからも毎年子供達との授業経験を活かしより良い租税教室を目指します。

（報告者：青年部会副部会長 杉本 陽真）

入 選



一宮市立 興小学校
渡辺 真衣 さん



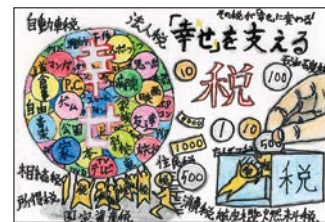
稲沢市立 稲沢北小学校
伊東 孝晃 さん



稲沢市立 大里東小学校
鞍野 光南 さん



一宮市立 今伊勢小学校
野田 虎市 さん



一宮市立 今伊勢小学校
野田 成 さん



稲沢市立 小正小学校
久留宮 高大 さん



稲沢市立 大里東小学校
澤田 茉乃 さん



稲沢市立 大里東小学校
田井 咲羅 さん



稲沢市立 小正小学校
大川 由芽 さん



稲沢市立 稲沢西小学校
谷岡 彩音 さん



稲沢市立 大里東小学校
角田 杏色 さん



稲沢市立 祖父江小学校
富田 帆乃花 さん



稲沢市立 稲沢西小学校
古橋 明季 さん



稲沢市立 大里東小学校
松久 裕紀 さん



稲沢市立 稲沢西小学校
三輪 祐也 さん

令和7年1月

主催	公益社団法人 一宮法人会女性部会 公益財団法人 全国法人会総連合
後援	国税庁 一宮市教育委員会・稲沢市教育委員会



はじめまして新会員の紹介 R7.1～R7.8 一宮法人会の新しいお仲間38社の皆さまです。(敬称略)

支 部	法人名	代表者名	業 種	紹介者名
大 志	卓 E d g e 合同会社	柴田 秀信	織物輸出版売	大鹿 (株)
栄	(株) O - p l a s	折原 翔	プラスチック原料卸売	いちい信用金庫一宮支店
神 山	森吉トランスポート (株)	宇佐美方邦	自動車運送事業	森吉通運 (株)
宮 西	スマイルエル (株)	永井 映子	サービス事業	
貴 船	(株) 道	河村 道男	建設業	河村繊維 (有)
//	一宮浄化槽管理センター (株)	丸井 隆弘	浄化槽管理業	(資) ヒロミ写真機店
//	愛岐ホールディングス (株)	山本 桂三	電気工事業、不動産の賃貸及び管理	
//	(株) エムズ	宮腰 大輝	電気工事業	
丹 陽	(株) マホリ	和田 正二	一般貨物自動車運送事業	永興物産 (株)
//	ダイヤモンド (株)	大里 雄治		
//	なごみ建設 (株)	谷元 和人	建設業	美吉建設 (株)
今伊勢	(株) エーアイ設計事務所	山本 桂三	設計	
大 和	(株) 辰巳商店	浅井 信博	カバン、財布、キーケースの販売	事務局
//	(株) テクノサポート	松山 英樹	製造業	(株) サンメカニック
葉 栗	エム・プランニング (株)	溝口 晋也	建設業	
//	(株) 小金屋	小関 一範	あと施工アンカーの販売、施工	丸左燃然 (株)
浅 井	S B Y (株)	小池 弘美	インターネット通販の配送代行、倉庫保管、流通加工、在庫管理システム	事務局
千 秋	エイティファーム (株)	長谷川八十	農業他	事務局
//	(有) 誠心	藤本 武美		
大 徳	(株) 鵜飼加工	鵜飼 政雄	製造業	
//	(社福) 杏嶺会	上林 公子	医療型障害児者入所施設	社会医療法人杏嶺会
//	(有) 川原商会	田口 雅輝	自動車解体、部品販売	
三 条	B O I S 創建 (株)	大西 好伸	建築業 (リフォーム・リノベーション)	(株) 野田造園
//	合同会社イレブン	大島 裕介	不動産賃貸、不動産、スバの経営、スイーツ店の経営	事務局
朝 日	(株) ベストアグリ	内藤 清太	農業	サンライズ防災 (株)
//	(有) 児山プレス工業所	児山 洋雄	金属プレス加工	
//	(株) 三水商工	田中 呂尚	フィルム等のコーティング加工及び製造、販売	
//	(株) エムケーカンパニー	豊田 卓弥	機械販売メンテナンス	
稲 沢	(株) 一喜	小出 愛子	障害福祉事業	事務局
//	(株) グレースインターナショナルパートナーズ	水野 勝登	タイヤ販売業	永興物産 (株)
//	一般社団法人未来のかたち	長谷川裕記	フリースクール、こども食堂	美吉建設 (株)
//	(株) 大橋不動産	大橋 岳人	不動産	
木曽川	(株) A n d S m i l e	西山 恵美	障害福祉	
祖父江	(有) オワリ流通	小塚 健次	運送業	美吉建設 (株)
//	(株) ヤマクラ	山内 米二	不動産賃貸業	美吉建設 (株)
//	(株) L E O	前畑 大輔	不動産賃貸業	美吉建設 (株)
平 和	(株) 三井造園	三井 一八	造園工事業	
地区外	(株) かんぼ生命保険 名古屋法人支店	毛利 弘	生命保険業	(株) 愛和産業

法人会費の口座振替利用のお願い

資本金別会費基準	年会費額
100万円以下	2,000円
500万円以下	3,000円
1,000万円以下	5,000円
3,000万円以下	10,000円
5,000万円以下	15,000円
1億円以下	20,000円
1億円 超	30,000円

平素は当会の事業活動に対しまして、格別のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

年会費の口座振替をまだ利用されていない会員様は、是非口座振替(自動引落し)のご利用をお願い申し上げます。

「預金口座振替書」をご希望の方は事務局までご連絡下さい。

※法人名・所在地・代表者・資本金等に変更がございましたら事務局までご連絡下さい。

※子会社(事業所を含む)、特別会員の会費は資本の額に関わらず2,000円です。詳しくは事務局迄お尋ね下さい。

※入会初年度の会費は免除になります。

コラム

新入社員研修で感じた「今どきの若者」の傾向と対策

株式会社ジェイック HRドクター編集長 古庄 拓

私が所属するジェイックでは、毎年数百人を超える各社の新入社員に研修を実施しています。その中で感じた「今どきの若者」の傾向と対策のヒントを紹介しますので、20代の新人や従業員が在籍している、または採用を検討している企業の方は、ぜひご一読ください。

まず感じるのは、会社へのロイヤリティの低下です。終身雇用と年功序列が崩れ、転職が当たり前となった中で、会社は「報酬をもらい成長するための場」であり、「一生この会社にいる」という考えは少数派です。「すぐ辞めたがる」「全力を出さない」という意味ではなく、「成長できるか?」「時間・苦労と報酬が見合っているか?」を冷静に見ているということです。今の若手社員は、日本経済に右肩上がりの希望が少ないからこそ、安定志向が強くなっています。ただし、「安定」の定義が昔と変わっています。彼らが望む安定とは自分の市場価値が高まることを意味し、成長意欲と結びついています。会社の安定や業績、今の待遇よりも「自分が成長できるか」「市場で通用するスキルが身につくか」「待遇や年取が将来どうなるか」という見込みを大切にしているので、指導や採用時には「この仕事でどんなスキルが身につくか」「市場でどう通用するのか」を明確に伝えることが有効です。例えば、「資格とこの経験を積みば市場価値が高まる」といった形で、経験と成長が「武器」になることを伝えると、意欲や定着率の向上につながります。

次に、積極的な対人関係には慣れていないが、人間関係を拒むわけではないことです。時代の変化に伴って、「文句を言わずに言うことを聞け」「年上だから敬意を払え」といった人間関係は明確に嫌われます。またコロナ禍の影響で、リアルコミュニケーションの機会が減り、上司や先輩に自分から話しか

ける若者は減っています。一方で、自己成長(≒安定)のためにダメ出しやフィードバックで関わってくれる上司や先輩は、若手に望まれています。大切なのは上から目線ではなく、対話の姿勢でフィードバックを行うことです。「ここは○○○だから、こうした方が良い」と理由と修正点を伝え「なぜそうしたか?」など相手の気持ちを聞く、寄り添う一言を添えるとよいでしょう。

また、「タイパ(タイムパフォーマンス)」志向であることも忘れてはいけません。YouTube や SNS、生成 AI 等で(彼らの主観では)効率的な情報取得に慣れており、時間の無駄を避ける傾向にあります。したがって、「私が若いころは…」「今は楽になったけど…」等の長々しい説教やフィードバックは逆効果です。気持ちに寄り添う一言を添えつつも、合理的かつ端的に伝えることが重要です。

今の若手社員は、「帰属意識」や「上下関係」を強調されると離れますが、「個」として尊重されれば進んで関わろうとします。誠実で筋が通った説明にはきちんと応えてくれます。「うちの会社はこうだから」「昔はこうだった」等の説明では動かないのも彼らなりの真面目さです。育てる覚悟と向き合う姿勢があれば、きっと応えてくれるでしょう。

【筆者紹介】古庄 拓(ふるしょう・たく)
1983年生まれ。慶應義塾大学卒業後、株式会社ジェイックに入社。社員研修やリーダー研修、新卒採用など、複数のサービスや事業の立ち上げを担当し、執行役員・取締役等を歴任。現在は、採用と社員教育の情報を発信するメディア「HRドクター」編集長として知識・ノウハウを発信している。

日本と世界の 経済の「いま」を語る

入場
無料

日時：令和7年12月7日（日）14:00～15:30

場所：尾張一宮駅前ビル（i-ビル）7階 シビックホール

定員：300名（聴講希望の方は、別紙チラシにて、お申し込みください）

1980年、東京大学文学部を卒業し、新潮社に入社。松本清張を担当し、国内・海外の取材に数多く同行する。塩野七生『ローマ人の物語』の編集を経て、2004年から2009年まで国際情報誌『フォーサイト』編集長。その後、『Donald・キーン著作集』全16巻を担当。雑誌・書籍の取材・執筆・編集を40年9カ月続け、2020年末を以て新潮社を退社。一方、2014年よりテレビの報道番組で解説を務め、2018年10月開始のBS-TBS「報道1930」のレギュラー解説者となり今日に至る。現在、テレビ朝日の「世界動画ニュース」「モーニングショー」などの番組に出演している。



国際情報誌フォーサイト
元編集長
堤 伸輔 氏

編集後記 a postscript by the editor

- ◎定期人事異動で水谷署長様、岡本筆頭副署長様、村瀬一統様をご着任されました。お忙しいところインタビューありがとうございました。今後ともご指導よろしくお願いします。
- ◎法人会は社団化50周年を迎えて、通常総会、記念講演会など開催されました。また、税務経理研究部会においては、創立70周年を迎えて、総会、記念式典等が開催されました。
- ◎税務広報では、キャッシュレス納付や年末調整手続の電子化を掲載しております。税務署の説明会の案内などありますので、ぜひご活用ください。
- ◎第13回税に関する絵はがきコンクール入賞作を載せてあります。今回は当会の最優秀作品が名古屋国税局長賞として表彰されました。回を重ねる毎に応募者が増加し関係者には感謝しております。ぜひ作品をご覧ください。
- ◎表紙は、「第63回式年遷宮」に向けて、長野県の御杉山から切り出された御神木が真清田神社に御滞泊のため、運ばれる御神木奉迎送の様子です。
- ◎今後も、社会貢献事業等を実施するとともに、広報誌では会員はもとより一般の方にも読まれるよう有益な情報を発信していきます。よろしくお願いします。

《感謝T.K》

公益社団法人一宮法人会報 第163号

令和7年9月（2025）発行

発行所 （公社）一宮法人会

一宮市栄4丁目5番16号（一宮税理士会館1階）

電話 〈0586〉73-2134～5

FAX 〈0586〉73-5665

URL <https://hojinkai.zenkokuhojinkai.or.jp/ichinomiya>

印刷 西濃印刷株式会社

岐阜市七軒町15

電話 〈058〉263-4101



アフラックは、1983年より
「法人会福利厚生制度」を
受託しています。

あなたの一生に寄りそう保険会社として、
約束します。

お客様ひとりひとりが創る、自分らしく充実
した人生。

アフラックは、そのお手伝いをする存在で
あり続けます。

法人会がん保険制度
法人会医療保険制度

「生きる」を創る。
Aflac

〈引受保険会社〉

アフラック

〒451-6029 愛知県名古屋市西区牛島町6-1 名古屋ルーセントタワー29階

愛知総合支社 法人会フリーダイヤル ☎ 0120-876-505

※今後の対応は担当の
募集代理店が行います。

死亡保障

高度障がい保障

傷害後遺障がい保障

傷害医療費用保障

傷害休業保障

入院保障

傷害通院保障

疾病入院医療費用保障

疾病入院療養一時金保障

事業継続・事業承継相談費用保障

会社役員賠償責任保障

色々あるから総合保障。

経営者を取り囲むリスクは1つではありません。

まさに色々です。

だからこそ安心も色々必要です。

重責を担う経営者を守る、

※
幅広い保障を

ぜひお役立てください。

法人会の経営者大型総合保障制度
広げよう
企業保障の
大きな傘を

※保障内容の詳細については「設計書[契約概要]」「ご契約のしおり」「約款」を必ずご覧ください。なお、左記の保障の組み合わせには、所定の制限があります。

法人会会員のみなさまに

経営者大型総合保障制度

企業保障プラン + 一時金型
総合型V Mタイプ

Premium

(大同生命の定期保険+
AIG損保のベーシック傷害保険)

(大同生命の
無配当入院一時金保険)

◎大同生命の商品の正式名称は次のとおりです。

総合型V：

大同生命の無配当年満期定期保険(無解約払戻金型) または
大同生命の無配当歳満期定期保険(解約払戻金抑制割合指定型)

Mタイプ：

大同生命の無配当入院一時金保険(無解約払戻金型)

DAIDO 大同生命保険株式会社

名古屋支社 一宮営業所/
愛知県一宮市神山2-4-12
TEL 0586-43-3671

AIG AIG損害保険株式会社

名古屋支店/
愛知県名古屋市中区栄5-27-12(富士火災名古屋ビル)
TEL 052-685-6194

◎この資料は2023年6月現在の商品内容に基づいて記載しており、将来変更となることがあります。

◎この制度は、法人会の会員のみご加入いただける制度です。ご加入後に法人会を退会された場合は、保険料の引き上げや損害保険部分の解約等のお取扱いとなることがあります。

◎この広告は、保険商品の内容のすべてが記載されているものではありません。ご検討・ご契約にあたっては、「法人向け保険商品のご検討に際してご留意いただきたいこと」「設計書[契約概要]」「注意喚起情報」「ご契約のしおり」「約款」を必ずご覧ください。また、ご不明の点などございましたら、引受保険会社または取扱者にお問い合わせください。